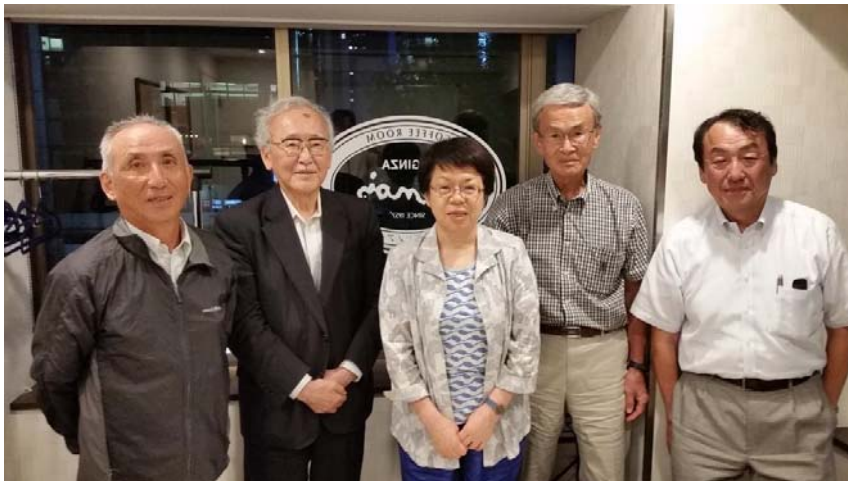


- クロスロードは残すところあと1回の発行となり、その編集後記になると思うと、大変淋しい。稀有な同窓生である MBI の皆さんと講師の先生方とともに、私たちはやはりビジネスという戦いをしてきたのだと思う。MBI 編集委員会が無くなると戦友の三橋さんと会えなくなるのが淋しい。三橋さんは広大な野菜畑を今年で閉じるという。豊作でも売る先がないという。三橋農園の最後の収穫で芋煮会でもやれればうれしいのだが。 坂上 弘(第3期)
- 特集「MBI ストーリー」は素晴らしい企画です。MBI メンバーとの出会いや新しい国際化の中で、様々なビジネスシステム、ビジネスモデル、ビジネスコンテンツ等を考え、それらを生き抜いたストーリーが綴られております。MBI 仲間からの心の贈り物となると思います。 川内 清隆(第4期)
- 70 ページに及ぶ「eCrossroads No. 7」は菅野さんのご尽力によりすっかり編集が済んだ形で、編集委員会の2日前に編集委員に電子データ(PDF形式)で送られてきました。編集が済んでいますので、編集委員がやることは、所謂「校正作業」だけで良い形です。ファイルを受け取ってから編集委員会当日までの時間は限られていましたが、編集委員会の時間はもっと限られており、委員会の場で全ページの校正を行うことは不可能と考えた私は、A4 サイズ 70 ページの資料を全てプリントアウトして、必死に校正をしました。その結果、全てをとりまとめてくださった菅野さん以外で最初に全部の記事を読んだ人物は私なのだと思います。そして電子版で皆様にお届けする eCrossroads を全て読んでくださる同窓会の方は果たしていらっしゃるのかと考えてみた時、全部読んだのは私だけ? となっているのではないかと感じてしまっています。
皆様、じっくり時間を掛けて全部目を通していただけると嬉しいです。宜しく願いいたします。とは言っても、この編集後記まで辿り着いてくださった方にしか伝わらないメッセージですが…
樋口 周嘉(第8期)
- 「MBI ストーリー」特集は特に興味深く拝読しました。皆さん、MBI の研修を通して色々な経験をしたり、感じたり、卒業後に MBI での経験が活かされたりとかで、人それぞれの MBI 研修であったのではと強く感じました。特別寄稿の「70 歳は歴史の旅人」を読んで、私も 70 歳! 木下さん風に私の 70 歳の歴史をメモしてみようかという気になりました。これが、私の人生の「纏め」の出発点になればと思っています。 村上 和彦(第15期)
- 昨年8月号でボブ・ディランがノーベル文学賞候補との噂について触れましたが、2016年10月13日に本当に選ばれてしまいました。これについては賛否両論あり、本人も授賞式を欠席するなど、今年の4月にメダルを受け取るまでにすったもんだ。自分の曲が文学と一体どんな関係があるのだろうかと考えていて、腹に落ちるまでに時間がかかったようです。日本人であればもっと素直に対応するのにな、と思った次第です。 三輪 博(第16期)
- 今回の特集は我が 18 期も対象のために、投稿もして気合いを入れて編集もしました。また、同窓会での交流などで殆どの寄稿者と交流が続いているので、彼がこのような体験をしたんだ、と我が事のように大変嬉しく読ませて頂きました。全員が当時のことを鮮明に覚えておられ、感心すると同時に、かなりの緊張感を持って参加して、あるときに腰が据わったのかなと感動しています。20 数年ぶりに全身の血が滾ったような気がしました。今夜は良い夢を見られそうです。 土田 晃道(第18期)

- 特集の「MBI ストーリー」を読み、60 年振りに旧友に会ったことを思い出しました。私は 1949 年から 1956 年まで新潟県長岡に住んでおり、丁度小学 1 年生に入る前から中学生 1 年まで地元の小学校、中学校に通っていました。昨年、約 60 年ぶりに長岡に行きました。まず小学校に行って校長先生にお会いし、私の卒業アルバムを見せていただき、そのコピーを持って帰ることにしました。その後、私が住んでいた付近を訪ねましたが、周りの風景はすっかり変わっていました。私が住んでいた近くの川を頼りに歩きまわりました。一番興味を持ったのは私が住んでいた所を歩いてみることでした。ただ、その場所はレストランになっていました。そのレストランで私と同じ年頃の人に会い、いろいろ話をしていたら同じ場所の住人だったことが分かりました。実に 60 年振りの再会でした！ 三橋 健八(第 19 期)
- 2017 年 8 月 9 日(水)、台風 5 号のおき土産でしょうか、東京は最高気温が 37°C まで上がり、体温よりも高いという凄まじい日になりましたが、夕刻に銀座で、e-Crossroads の編集会議がありました。坂上編集長はじめ出席された皆さまは、暑さをものともせずお元気で、さすがに MBI 生と感心致しました。編集作業をしていて、そうだ！ 25 期も最近同期会をやったのに、あまりの楽しさについつい集合写真を取り忘れて投稿できなかつた気づきました。この場をかりまして、写真無しですが報告します。6 月 14 日(水)17 時～グランドプリンスホテル新高輪内の中国料理「古稀殿」にて、有光さん、石井さん、石村さん、木村さん、越場さん、日座さん、宮崎さんと朝倉が集まりました。お店は木村さんの選定で、ずいぶんと予定時間をオーバーしましたが、快く対応いただきました。恒例となっています有光さんのハーモニカ演奏に盛り上がりました。次回はしっかりと写真を撮り投稿します。 朝倉潤一(第 25 期)
- 第 2 回目の「MBI ストーリー」特集は第 11 期から 20 期まで参加された 11 名の皆さんにご寄稿いただきました。特に印象的だったのは、多くの方が「ベルリンの壁」に触れたことです。今では見る事ができませんが、ベルリンの壁は実にカラフルで芸術的な作品でもあったのですね。ベルリンの壁崩壊から四半世紀以上も経ち、その後の世界情勢・秩序はどう変化したのでしょうか。いまだに経済格差やひずみは深まり、現在起こっている宗教テロに繋がっているのでは、と思います。
「MBI ストーリー」特集は、2019 年の最後の MBI ファミリーデーのとき、冊子としてご参加の皆さんに記念品として配布したいと思っております。第 3 回は 21 期から 30 期までの皆さんに寄稿していただきますが、追加も歓迎しますので、1-20 期の皆さんも奮ってご寄稿お願いします。 菅野 妙子(MBI)



e-Crossroads 編集会議 @ルノアール銀座 6 丁目
2017 年 8 月 9 日